

津田左右吉物語

第19回

左右吉ゆかりの地

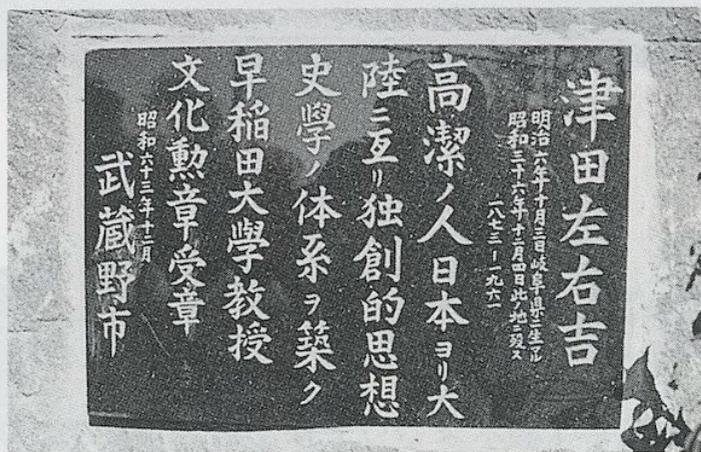
左右吉ゆかりの地（場所）は、市内では下米田町東栃井の生家。両親や祖先の墓所。遺品を保管している市役所文化課。記念モノUMENTや卒業証書のある中央図書館。出身校で胸像がある下米田小学校。親族の家、左右吉と親交のあった故尾関公見氏宅です。

東京都内では、「津田記念室」に左右吉の蔵書・原稿が保管されている早稲田大学。研究物の大半が書かれた紀尾井町（現ホテルニューオータニ）。晩年の住居があった武蔵野市境（現津田記念公園）。

その他では、戦火を避けて移り住んだ岩手県平泉町。夏の仕事場だった群馬県北軽井沢の山荘（現在は跡に歌碑が建っています）。

夫婦の墓所は埼玉県新座市平林寺にあり、津田家の先祖の位牌が安置されている可児郡兼山町浄音寺には「津田左右吉」と刻名された梵鐘ぼんしやう、名古屋市末広町（現中区大須）の光時寺には、尾張藩士だった先祖の墓所があります。

裁判に関する書類は岩波書店が保管。旧制中学教師時代の勤務校では前橋中、千葉中、栃木中、独協中などがあります。



▶ 東京都武蔵野市境の津田記念公園にある左右吉の碑

